



かみのせき 議会だより

2017
10/27

No.140



上関町の秋の夕暮れ

平成 29 年 9 月定例議会

議 案	平成 29 年度一般会計・特別会計の補正予算	2 P
ここが Point・教育長と教育委員の任命		3 P
平成 28 年度決算の認定・監査報告 他		4 P
一般質問		4～6 P
委員会視察研修報告		7 P
研修報告、編集後記		8 P

新庁舎建設に向けて 動きだす

旧上関小学校跡地に決定！

現在の本庁舎は昭和31年の建設から60年以上を経過し、建物・設備ともに老朽化が進んでいます。旧建設基準法制定前の建物であり耐震性の欠如は明らかです。また、行政の窓口サービスは、一度で用件が済む「ワンストップサービス」が望ましいとされているが、本庁舎においては分散しており、狭小な本庁舎は、市民と職員とがコミュニケーションを図れるような空間や、住民活動を支える町民スペース機能を全く有していないことも問題点の一つです。

災害の観点からみた庁舎では、耐震性の脆弱さから倒壊の恐れがあります。本来大地震や台風等の災害時に救援・救助活動や復旧・復興活動を迅速かつ適切に行うため、防災拠点としての機能を持つ必要があります。

また、自家発電設備などの自立した防災機能を持つておらず、災害対策本部を置くことが困難な状況にあります。現在の本庁舎は、老朽化や耐震性の欠如をはじめとして様々な問題を抱え、円滑な行政運営に支障

を来していることから、平成25年11月25日を最後に延期していた上関町庁舎建設検討委員会を平成29年8月4日に再開し、方向性が決定。海下竜一郎委員長から柏原町長へ候補地の答申書が提出されました。

9月定例議会 9月12日～21日

平成29年度一般会計および特別会計9会計の歳入歳出補正予算、条例の制定1件、教育長および教育委員会委員の任命、平成28年度一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定1件、報告3件で原案どおり可決、承認、同意されました。

平成29年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8040万円を追加し予算総額を34億4279万7千円とする

主な歳入

- 地方交付税の増額
- 社会資本整備総合交付金の増額
- 基金繰入金の減額
- 前年度決算繰越金の増額
- 臨時財政対策債の減額

主な歳出

- 各費目での人事異動に伴う人件費の増・減額
- 社会保障・税番号制度システム改修等委託料の増額
- 各特別会計への繰出金の増減額
- 道路新設改良費の増額

平成29年度特別会計 9会計補正予算

- それぞれの会計の歳入において前年度決算繰越金の増額および一般会計からの繰入金の増・減額
- 歳出は人事異動に伴う人件費の増・減額
- その他の主なもの
介護保険特別会計での介護給付費準備基金積立金の増額、介護給付費負担金等の清算による償還金の増額

行政報告

1、道の駅上関海峡について

7月3日に来場者が50万人を突破しました。オープンから2年半での達成です。第6期営業報告では来店者数は、月平均1万4700人、収益は304万1609円の利益となりました。

2、上関海峡温泉鳩子の湯について

施設内にあるレストラン「さくら」が、7月18日「やまぐち食彩店」となりました。第6期営業報告では、来店者数は、月平均1万人で、収益は680万6923円の利益となりました。

3、夏から秋にかけての諸行事について

●6月25日に開催された朝鮮通信使上関到来まつりは平成30年11月17日、18日の両日に開催することになっている「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会」のプレイベントとして開催されました。本町の「朝鮮通信使船上関来航図」を

含めた、日本、韓国、両国の朝鮮通信使関連の資料をユネスコ記憶遺産への登録申請を行っており年内には登録される見込みです。

●7月22日には夏の恒例行事となっている水軍まつりを開催。第26回目となる今回は、「歴史・海・食」をテーマとし、水軍太鼓や鯛の水軍炭火焼き、水軍市など盛大に行なわれました。

また、広島広域都市圏協議会の広島県呉市、安芸太田市、安芸高田市、北広島町、岩国市、柳井市の六つの市や町の特産品の販売や、ゆるキャラの派遣などによって盛り上げていただきました。

●夏の成人式が今年も8月15日に総合文化センターで挙行されました。成人式を迎えられたのは14名で8名が出席されました。



成人式

教育委員会制度が変わります！

ここが
Point

- ☆教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置
- ☆教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化
- ☆すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置
- ☆教育に関する「大綱」を首長が策定

上関町教育委員会 教育長の任命

新制度では、教育委員の互選で選ばれていた教育委員長と教育長を廃止し、首長が直接任命する新「教育長」に一本化されます。

旧教育長の残任期間まで、経過措置として旧制度が適用され、高松秀義前教育長の任期が9月30日で満了となることに伴い山方純さんが、新教育委員会制度に基づき教育長に任命されました。



山方 純 教育長

上関町教育委員会 委員の任命

教育委員会委員の橋部好明さんの任期が、9月30日で満了となり、新たに岡部和男さんが任命されました。



岡部 和男 委員

監査報告



山谷 良数
監査委員

陳情

○「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について
全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣一徳

○国民健康保険単位数に係る標準保険料率（試算）の早期公表に関する陳情

山口県社会保障推進協議会
代表委員 磯野有秀

第1回臨時議会

平成29年7月27日に招集され、次の議案を可決しました。

☆工事請負契約の締結について

○工事名

祝島漁港浮桟橋設置工事

・契約金額

1億2088万4400円

・契約の相手方

(株)東和建設

・工期 平成30年2月28日

○工事名

室津地区定住促進住宅新築（建築主

体）工事

・契約金額

5281万2千円

・契約の相手方

(株)河本土木建設

・工期 平成30年1月31日

財政状況は変わらず厳しい状況です。指摘した事項など申し上げます。
町税の収納未済額は1033万4611円、国民健康保険税1707万226円、介護保険料189万38円、住宅使用料、水道料金の合計3879万5595円の未納があり町財政を逼迫させている。
徴収については、常々申し上げておりますが、現体制では限界であると感じております。係の設置など徴収対策を講じる必要があります。
次に対策や考察すべき事項について主な点を申し上げます。
有害獣駆除（イノシシ）・福祉優待バス運行事業・町営墓地の管理・医師確保・風力発電建設工事に伴う安全対策・国支援事業交付金の取り組みと新庁舎建設等、厳しい財政状況のなか住民に負担を掛けない政策を行い、誰もが住みたい町・住みたくなる町へ、町民と共に一步一步、歩んでいただくことを願い、監査意見いたします。

町政のことが聞きたい

一般質問



清水 敏保 議員

質問

災害対策強化に4点の質問
① いろいろな災害を想定した訓練を町と地域で連携し早急に実施しては。
② 町指定の避難場所が老朽化している。今後の対応は。
③ 離島である祝島、八島での避難訓練に船舶やヘリによる輸送を取り入れた訓練が必要では。
④ 町内各地区に設置している消防設備が腐食等により機能しない個所がある。
一度総点検が必要では。

町長答弁

① 避難経路や避難場所への移動訓練は共助を基本に各地域と協議、検討したい。
② 避難場所は公共施設総合管理計画に基づき整備。新庁舎も高台に決定した。
③ 離島での避難訓練は必要であるが、町独自では困難。県など関係機関との協議が必要。
④ 町内各地に設置している消防設備の点検は消防団の幹部会議で協議しており、必要に応じて整備したい。



消防機庫の点検



我が国の原発政策と上関原発計画

答 国の方針は変わっていないと思う

原発の再稼働が話題になっている。しかし現実には加圧水型のものであり、沸騰水型では動きが見られない。沸騰水型の中電でも同様と思われていた。ところが中電は、突如6月から上関の補完調査として6本のボーリングを始めた。町長には説明があったと思うがその意図について説明を求める。一方、国はエネルギー基本計画の見直しでも原発の新増設は無いようだが、この落差をどう見るか。

質問

山戸 貞夫 議員



町長答弁

中電からは追加地質調査に係るボーリング調査は、新規制基準に係る審査で用いられた手法によりデータを補強するための報告があった。国のエネルギー政策における新増設は明確にされていないが、原子力を重要なベースロード電源として位置づけていることや、上関地点が今も重要電源開発地点に指定されていることから、中電は上関を重要な電源として取り組んでいると思う。



田ノ浦沖合から現地を見る

新定期船「いわい」の就航に伴う各種取り組み

答 定期船待合所の必要性は十分理解している

老朽化で心配されていた柳井・祝島間の定期船が新「いわい」として就航し、関係各位のご支援ご努力に感謝します。同時に新たに浮桟橋もすでに工事が始まります。また、従来の乗船場より遠くなる地区住民のために、防波堤の一部切削で利便性を高める計画もほぼ決定したようです。残るは定期船の待合所です。発着場所も変わりますし、利用者も荷物を収容する施設をぜひご検討いただきたい。

質問

町長答弁

新定期船いわいは県知事も列席されて竣工式典を行い4月18日より運航が開始されている。現在、浮桟橋の設置工事も始まっており完成が待たれている。工事中の浮桟橋が完成し、定期船の離発着場が移動するとなれば、切符売り場なども含めて当然その近くに設置することになる。待合所の必要性は十分理解しているので、現在財源の確保について模索している。



浮桟橋設置工事開始（祝島）

水道事業の現状と経営戦略

答 これまで築き上げた水道事業を次世代に引き継ぐ



嶋尾 忠宏 議員

質問

水は人間が生きていくのに必要不可欠。水道事業は町民が生活する上で欠かすことの出来ない事業だが、公営企業として独立採算制の原則のもと、経費は主に利用者からの使用料で負担する。上関町の場合、使用料収入は必要経費の2分の1以下で、一般会計からの繰入金で賄っているのが現状。少子高齢化、人口減少傾向にあり、今後の経営戦略について聞く。



上関～四代線送水管布設替え

昭和30年から整備が始まり現在の水道加入率は99.4%です。また、平成12年8月より弥栄ダムを水源とした柳井広域水道企業団より受水を開始し、慢性的な水不足は解消されたが、人口減少等により水道使用量が減少傾向で、財政的に厳しい現状は続くと思われる。こうしたことから、各首長などで構成される経営安定化検討会が設置され、安定運営の協議や支援の継続要望をしていく。

町長答弁

ふるさと納税について

答 納税額の拡大を図る



右田千賀子 議員

質問

平成28年度の寄附金は、692件で、総額約2700万円。今後町財政の主要な柱となり、期待できる。まずは、平成29年度の申込状況をお聞きしたい。また、PRの仕方として、「町内の皆さまから町外の知人等へのPR」、「町外の企業等へ直接出向いてのPR」等を行えば、大きな成果が得られると考えるが、今後の具体的な取り組みについての考えは。

町長答弁

9月15日現在で寄附件数が177件、寄附額が400万円となっている。本町の場合は、返礼品のシーズンからしても秋から年末にかけて申し込みが集中しており、これから期待している。今後も地元事業者の方々のご協力を仰ぎ、返礼品のボリュームアップを図ると同時に、全国に向けた積極的なPR活動など引き続き取り組んでゆき、一層の納税額の拡大を図りたい。



ふるさと納税ポスター

常任委員会視察研修報告



総務文教常任委員会

委員長 海下竜一郎

- ・重要伝統的建造物群保存地区
- ・とっとり花回廊

鳥取県大山町

鳥取県大山町と南部町で



産業厚生常任委員会

委員長 山村泰志

- ・日本一の子育て村構想
- ・A級グルメ構想

島根県邑南町

邑南町は、平成16年10月1日、旧羽須美村、旧瑞穂町、旧石見町の三町村が合併して誕生した町です。

合併以来「和」のまちづ

視察研修して参りました。

大山町は鳥取県の西部に位置し、人口1万6665人、面積189・8km²で主な産業は、観光と農業です。大山町所子・伝統的建造物群保存地区の研修ですが、所子集落の酪農敷地は、集落内を通る道に主軸方面を沿わせた主屋、その周囲に建てられた蔵・納屋・厩舎などの諸施設が配置されています。その農村の歴史的風致を良く伝える景観が高く

くりに目指して「夢響きあう元気の郷づくり」をテーマに新しいまちの基盤づくりを進め、町民主体のまちづくりを促進した。平成23年には「日本一の子育て村構想」を掲げて、子育て世代にやさしく暮らしやすいまちづくりを進めた。また、ここでしか味わえない食や体験を定義した「A級グルメ構想」を掲げ、それらの実現により、住み良い町づくりを実践している。具体的には、平成27年度の人口統計の人口動態が微増、特に20～30代の女性のUIタ

評価され、平成25年12月27日に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。保存地区の年間の維持管理費は、建築物の修理、仮設トイレの借り上げ、パンフレットの印刷、町並み保存会への助成などを含め1550万円で、年間の観光客数は、住宅的要素が強く、資料館も無いため、町並みガイドへの申し込みが300人、5日間の一般公開で約2000人程度です。今後の課題として、仮設トイレで対応しているため、観光客や地元からなんとかし

ーン者が増加、それに伴い、全国平均1・46%の合計特殊出生率も2・46%となっている。子育て支援としては、出生届のお祝いステッカー発行や子育て支援ポイント制度などアイデアも取り入れている。また、保育園児の野外ご飯づくりの体験学習など地域住民で子育てに取り組んでいる。

「A級グルメ構想」は、邑南町で生産される良質な農林水産物を素材とする「ここでしか味わえない食や体験」を、A級グルメと称し、平成23年に地産地消し

てほしいとの声が多くあります。古民家を利用した資料館が無いため、年間を通して見学へ誘導できないのが課題であると言われました。

鳥取県南部町

2日目の午前中には、鳥取県南部町にある大山を望む日本最大級のフラワーパークである鳥取県立とっとり花回廊の視察研修をしました。総面積が50ヘクタールで全県公園化構想の推進と憩いの場の提供、観光振興と花卉園芸振興の拠点と

ストランを町営で開業。平成27年からは里山イタリアンAJIKURAとして民間に移行、全国規模で集客展開を図っている。また、調理師人材の発掘に地域おこし協力隊制度を活用している。

今後の展開としては28年度から5か年計画として地域循環経済の確立を目指し、地域の人が地元商品を愛し、地元商品を購入する「食と農産業」による町内循環型経済の確立を推進していくとのこと。

して平成11年に建設されました。ユリの花をメインフラワーとして一年中見られるようですが、定期的に沢山の種類のユリが展示されていました。その他、サルビア・アジサイ・洋ラン・クレマチス他、色んなハーブが咲き誇っていました。

◆南部町視察の感想

旅先でこうした施設を訪れ、癒しを感じ、憩いの場としては感じられたのですが、敷地が広いため、花木の維持管理などいろいろな面で、ご苦労があるだろうと感じました。

◆邑南町視察の感想

邑南町役場の各課の連携体制が綿密に図れ、行政指導による民間活力を活用し、町ぐるみで取り組んでいる。私たちは予定の時間より30分前に到着したが、邑南町の職員は玄関前に待機していた。また、昼食場所の里山イタリアンの接客姿勢も来客者を丁寧に対応する姿勢が伺えた。

町ぐるみでの対応評価の評判が、邑南町の魅力となり、移住に繋がっているのではないかと感じた。

研修報告

7/6~7

東京都

町村議会広報クリニックス

広報広聴調査特別委員会

副委員長 嶋尾忠宏

全国町村議会会館で開かれた全国町村議会広報クリニックスは、全国をブロックに分けて、中国、四国、九州ブロックでは、25町村議会の参加となりました。講師は、議会広報サポーターの芳野政明先生で、前半では議会広報の本来の意味、自治体広報の3つの目的、広報誌が持っている対住民との関係8つの機能などについて。後半では、レイアウト、見出しなどクリニックスと編集全般について講義いただき、実り多い研修でした。これからも「住民に読まれ、議会活動が伝わる」議会広報を目指して参ります。



熊毛郡議会広報連絡協議会定期総会

7月13日、平生町役場において「上関町・平生町・田布施町」の広報正副委員長、事務局職員で「平成28年度事業報告・決算」について協議した後、情報交換を行いました。また、議会広報の編集体制、方針等広報広聴活動の向上に資する目的で、10月31日に広島県熊野町議会に視察研修することを確認しました。

熊毛郡町議会議員 合同研修大会

7月19日、平生町で「障害者差別解消法の施行と地方自治体の取り組みについて」を演題として、山口県健康福祉部障害者支援課の内畠義裕課長、村谷利浩主幹を講師に招き研修をしました。



柳井地区広域市町 議会議員研修会

7月24日、アニメバーサリーステージベルゼで「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、を演題として村岡嗣政山口県知事を講師に招き研修しました。山口県の人口の現状と課題について説明。「重点的な取り組みの紹介」や「人口減少の克服に向け、実効性のある取り組みを進めていくための5

年間（平成27～31年）の戦略」などの説明を受けました。



山口県町議会議実務研修会

8月30日、山口市で「これから求められる町村議会の役割」を演題として駒澤大学大山礼子教授が講演されました。議会をとりまくさまざまな環境、ますます重要になる議会の役割、これからの議会にふさわしい選挙制度は？などについて私たちにわかりやすい内容の講演でした。



編集後記

朝晩めっきり涼しくなつて、実りの秋となりました。最近、話題となっているのが幼児教育や高等教育の無償化ですが、未来投資のためにとても重要なことだと思います。また、武道の必修化や道徳の教育化、教育委員会制度改革など、未来のための改革が進んでおり、実り多く育くんできるとを期待しております。来年には山口県で、明治維新150周年を迎え、県下各地域でイベントが予定されていますが、この機会に歴史を振り返るのいいかもしれません。

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 岩木 和美
副委員長 嶋尾 忠宏
委員 海下竜一郎
〃 山戸 貞夫
〃 山村 泰志

次回定例会の初日は12月5日の予定です。

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報広聴調査特別委員会

印刷所／中村印刷株式会社